



国際大会の華パレード

ライオンズクラブ ご入会のすすめ

私たちは、世間とのかかわり合いのなかで大勢の人々にお世話になってきたものだ、と振り返ることがあります。また、数多く重ねた人生経験で、自分より恵まれない環境にいる人々を見てきました。何とか自分で、こんな社会にお返しできる方法はないだろうか、と考えています。

しかし、一人の力ではとても有意義なことはできない、と諦めている方がおられます。

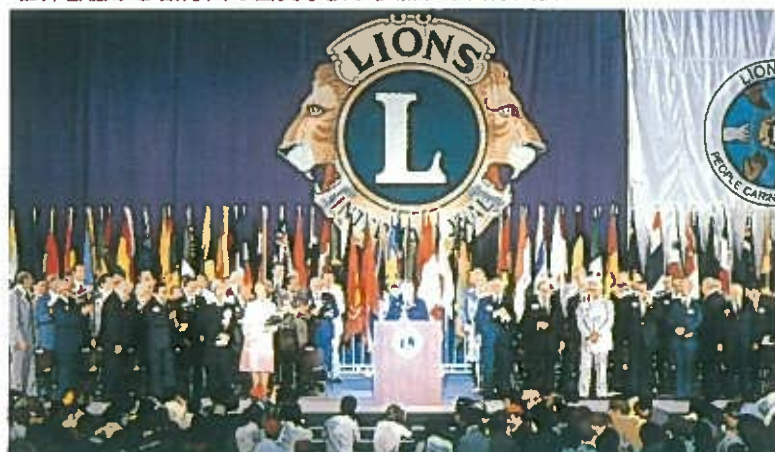
このような方に、ライオンズクラブへのご参加をお勧めします。

ライオンズクラブはそれぞれの所属する地域社会に対し、参加会員の総力を結集して社会奉仕活動を実行する団体です。

きっと皆さんは、社会奉仕活動を行っている使命感と、さらに生涯の友としての人の輪の広がり、また、よいクラブ・ライフをエンジョイすることができるかと確信しています。

Liberty
Intelligence
Our
Nation's
Safety

世界各国から数万人の会員家族が参加する国際大会



ライオンズクラブ

■目的

社会奉仕活動（アクティビティ）を職域や個人で行うだけではなく、ライオンズクラブという団体を組織し、チームワークを発揮して行うことによって、有意義な効果をあげることができるように組織された団体です。

■スローガン

Liberty Intelligence Our Nation's Safety
(自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をはかる)

■モットー

We Serve
(われわれは奉仕する)



■ライオンズの誓い

「われわれは知性を高め、友愛と相互理解の精神を養い、平和と自由を守り、社会奉仕に精進する」

■組織

ライオンズクラブは、「ライオンズクラブ国際協会」という世界最大の社会奉仕団体に所属する単位クラブです。全世界では約4万クラブ、150万人の規模をもっていますが、日本は世界第2の規模で約3千クラブに17万人の会員数です。また、それぞれの単一クラブは地域の名を冠してその名称とし、単一クラブは多少の違いはありますが、30人から60人ぐらいの人員で構成されています。

■会員

豊かな知性と道徳心の持ち主で、地域社会で声望のある成年の男性および女性は、会則にしたがいライオンズクラブの会員になる資格があります。ライオンズクラブの会員になるには、当クラブ会員が推薦者（スポンサー）となって手続きを進めます。入会に当たっては入会金を納入します。また、会員はクラブの請求にしたがい年間会費を支払います。この会費には、クラブの運営費、月2回行われる例会費および奉仕活動の事業資金である事業費を含んでいます。

エリア内各国の会員家族が集う東洋東南アジア・フォーラム



■社会奉仕活動の内容

社会奉仕活動は多岐にわたっていますが、その一例をあげると次のような活動があります。

- * 高齢者福祉対策
- * 精神・身体障害者対策
- * 献血・献腎・献眼・骨髄移植推進
- * 盲人・言語障害者・難聴者対策
- * 青少年・薬物乱用防止対策
- * 環境保全対策
- * 国際協調・Y E (青少年海外派遣、受け入れ)

これらのアクティビティのうちから、その所属するクラブの地域にもっとも必要と思われるものを重点的に取り上げております。

■運営

ライオンズクラブの運営には次の3つの機構があります。ライオンズクラブの事業は、(1) 委員会で立案したことを、(2) 理事会に具申し、理事会で適当と認めた場合は、(3) 例会に提案します。例会で決議された事業は執行機関としての理事会を通じて、それぞれの委員会において全会員の協力のもとに実行にうつされます。これが、ライオンズクラブの運営の原則です。

クラブ例会は、一定の日時および場所で原則として毎月2回(隔週)開かれます。すべての会員には、クラブ運営に直接参加する権利と義務があります。例会に努めて出席し、友好を深め、楽しく話し合い、クラブ活動にも直接参加し、そのなかから(イ)自己を向上させ、(ロ)これを他人におよぼし、(ハ)よい社会奉仕を生み出すことが例会出席の本質であります。例会にどうしても出席できない場合は、代替出席(出席メークアップ)の規則があります。

例会出席はすべての会員がクラブ運営に参加するための基本的義務であると同時に、自己の向上のためでもあります。出席し、運営に参加し、所期の目的を完遂することがもっとも大事なことであります。

ライオンズクラブをより充実し、親睦をはかるため、例会に趣向を凝らしているクラブがたくさんあります。納涼家族例会、旅行例会、クリスマス家族例会、忘年例会、新年家族例会、花見例会など。また、各クラブ内に同好会がおかれており、ゴルフ会、謡曲会、小唄会、俳句会、麻雀会など、会員の親睦をはかるうえに大きな役割を果たしております。新入会員のご参加は大歓迎です。



環境保全：幼稚園児がコイの稚魚を放流



社会福祉：肢体不自由児をバス旅行に招待



社会福祉：阪神大震災被災者に救援募金

ライオンズクラブの歴史

ライオンズクラブ国際協会は、1917年、アメリカのシカゴ市で誕生しました。創立者メルビン・ジョンズは実業家の団体が単なる商売上の、あるいは社交上の集まりにとどまらず、社会のための有益な団体にならないかを考えて各種団体に呼びかけ、社会奉仕団体の結成を計画しました。ここに正式に「ライオンズクラブ国際協会」が結成されました。

1920年、カナダのオンタリオ州ウインザー市にアメリカ国外第1号のライオンズクラブが結成され、名実ともにこのとき、協会は「ライオンズクラブ国際協会」になりました。

日本では、1952年（昭和27年）3月、フィリピンのマニラ・ライオンズクラブによって、東京ライオンズクラブが誕生し、その後、全国に約3千クラブが結成され、現在世界第3のライオンズ国となっています。



ライオンズクラブ草創期のころ

世界のライオンズ

1999年6月30日国際協会集計

地区	クラブ数	会員数
世界 (182国または領域)	44,551	1,417,269
日本 (8複合地区・32準地区)	3,317	153,643
330複合地区 (東京・神奈川・山梨・埼玉)	495	18,734



創立者メルビン・ジョンズ

ライオンズクラブの組織（主な役員）

●国際協会
国際会長
国際第1・2副会長
国際理事

●複合地区
ガバナー協議会議長

●準地区
地区ガバナー
副地区ガバナー
リジョン・チエアマン
ゾーン・チエアマン
委員長

●単一クラブ
会長
幹事
会計

●ライオンズクラブ
国際財団
(LCIF)



ライオンズクラブ国際協会

1999年11月 330複合地区会員・エクステンション・指導力育成委員会作成